

「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」
平成 30 年度募集概要
《平成 29 年度募集要項からの主な変更点》

1. 「理系、複合・融合系コース（未来テクノロジー人材枠）」の新設

人工知能やビックデータ等、産業と IT の結びつきが不可分となる将来の産業界で活躍する、グローバルマインドを持った“未来テクノロジー人材”の育成を目的として、平成 30 年度募集より、「理系、複合・融合系コース」の中に、「未来テクノロジー人材枠」を新設し、当コース支援予定人数の 2 割程度を採用します。

人工知能、IoT、ビックデータ、サイバーセキュリティ、ロボティクス及びその基盤となるデータサイエンスといった、6 つのテクノロジー分野に対する強い興味と高いポテンシャルを持ち、将来当該分野で日本をリードしてゆく意思を持った人材を育てる事を狙いとします。

未来テクノロジー人材枠の採用にあたっては、在籍学校の専攻分野との繋がりや、過去の取り組み実績(研究実績、受賞歴等)などをより重視して評価します。

既存コースとは提出書類が一部異なっているため、募集要項を熟読の上応募下さい。

2. 留学計画の申請要件の追加

留学計画の申請要件として、「留学先の受入れ先機関が、外務省の「領事サービスセンター（海外安全担当）」の情報提供サービス等における海外安全ホームページ上「レベル 2：不要不急の渡航は止めてください。」以上に該当する地域ではない計画」という記載を追加しました。

3. 危機管理体制の整備

在籍大学等が独立行政法人日本学生支援機構へ学生を推薦するにあたっては、大学における海外留学に関する危機管理ガイドラインチェックリストに記載のある事項について対応できる体制を整備するよう努める必要があります。